

## 平成22年度 文学部シラバス

授業科目の区分	専門科目						
【H18-22年度入学者】講義番号	012330	授業科目(18-22)	行動科学課題演習	配当年次(18-22)	4	重複履修の可否(18-22)	可
【H16,17年度入学者】講義番号	012330	授業科目(16,17)	行動科学課題演習	配当年次(16,17)	4	重複履修の可否(16,17)	可
講義題目	心理学卒業論文演習						
学期	後期	曜日	金	時限	4	単位数(16-22)	2
他学部学生の履修	否						
担当教員	長谷川 芳典						
電話番号	086-251-7402						
Eメールアドレス	<a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html</a> 参照						
オフィスアワー	水曜2限目（Eメールで予約をとる場合は、 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html</a> を参照）						
授業の概要	担当教員の指導のもとで卒論研究を行う。前期においては特に、研究テーマの選び方、どうい方法・手法が最善であるのかについて念入りに検討を行い、実際にデータを収集するところまでを指導する。						
学習目標	卒論研究という一連の取組を通して、自ら研究課題を選び、適切な研究方法を用いて信頼度の高いデータを収集し、分析し、適確に結論を引き出す力を身につける。						
授業計画	4年次生（卒論生）に対して、指導教員が卒論研究指導を行うための授業。 毎回、文献レビューもしくは卒論研究進捗状況、学会・研修会参加報告などをファイルにまとめ、ネット上で公開する（一部はゼミ内のみ公開）。ローテーションに基づき、定期的にそれらを口頭発表。同時に、ゼミ内の学部生・院生の発表内容についてコメント。出席して新たに学んだことをシャトルカードに記入。 ◆ルールは以下の通り◆ ・課題提出：毎週、文献レビュー、研究進捗状況、各種学会・研究会参加報告などを1篇以上提出する。 ・毎回の授業に出席し、必ず1度以上発言をする。シャトルカードに、その回に新しく学んだことを5行程度で記す。 ・次の授業までのあいだに、各ゼミ生の非公開掲示板に発表内容等についてのコメントや参考情報などを書き込む。						
受講要件	担当教員の指導のもとで卒業論文を作成する者。心理学領域の各開講科目（行動科学実験調査演習、概説、講義、演習等）を履修していることが望ましい。 インターネットを利用してゼミ専用サイトにアクセスできること、パソコンEメールでファイルの添付を含む送受信ができることが必要。						
教科書	受講生の研究発表を主体としているので、教科書は使わない。						
参考書等	専用Webサイトにて紹介。 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/</a>						
成績評価	授業計画に記した通りのルールにより、毎回の課題提出（60点満点）、シャトルカード記入（40点満点）、ゼミ掲示板での一定回数以上のコメント書き込み（回数の不足があれば最大40点分まで減点）。						
研究活動との関連	担当教員は、行動分析学、心理学方法論、学習心理学を専門としている。						
コメント	【認定心理士Ⅰ】 7月下旬に実施予定の卒論中間発表会に参加し、討論すること。詳しくは、長谷川ゼミ専用のWebサイトを参照されたい。 次の授業までのあいだに、各ゼミ生の非公開掲示板に発表内容等についてのコメントや参考情報などを書き込むこと、毎回、文献レビューの課題ファイルを作成し提出することが必要である。 自身の卒論研究ばかりでなく、他の卒論生、院生、3回生の研究テーマについても建設的なアドバイスができるような心理学基礎知識と幅広い視野を求めている。						